

「おしゃべりと俳句の会・冬」志村地区に初めて参加して…

菊川 雄二

去る12月1日、志村地区にて行われた句会に初めて参加しました。

当日は好天に恵まれ穏やかな陽気の中、志村坂上地域センターに集合。

9名の参加者は、総泉寺、薬師の泉、御手洗不動、龍福寺と、俳句のネタ(種)を探しての吟行を行いました。

季節の植物を見つけてはその名前を確認しあい、崖から滲み出る水を見ては意見を交わし、鳥の声を聴いては何の鳥かと情報交換をしつつ、あっという間の90分でした。

今回の参加者で初心者は、吉田さんと私の二人、行程中には俳句作りの先輩方から、吟行での着眼点、俳句作りの注意点などを丁寧に教えていただきながらの散策となりました。

その後、地域センター会議室に場所を移し、本日のメインである俳句作りとなりました。

それぞれが吟行で感じたこと、見つけたことを題材に真剣な作業がおよそ30分。参加者の先ほどまでの穏やかさとは違う真剣な表情が印象的な時間を経て、それぞれが3句程度を清記して提出。私も何とか作ることができました。

その後、誰の作品かわからないように工夫した作品を全員で選句。それが選んだ句の寸評を行い、選ばれた人はその句の意味を説明するという段取りで進んでいきます。

幸いなことに、初心者二人が作った句を選んでくれた方もおり、とても嬉しく思いました。

最後に先生の講評があり、語順や季語の使い方など、わかりやすいご説明をいただき、「ああ、自分もこうすればよかった。」などと、少しだけステップアップができたような気になる時間を過ごすことができました。

その後は、参加者の懇親会。アルコールも入り、それぞれの句の忌憚のない意見交換が行われ、楽しい一日(半日)を過ごすことができました。

次回は2月16日に赤塚地区にて開催予定。初心者の方もぜひご参加ください。

隠れた才能が開花するかもしれませんよ!!



